

事務事業名	桜川市PR事業	事務事業No.	60101000948	所属課	秘書広報課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ ・平成28年度から、茨城県人会時の特産品のPRや市長が他の自治体に訪問する際に特産品のPRをするために始まった。平成29年度から県人会時の特産品のPRは商工観光課で実施することになりました。 ・市の魅力を広く全国に発信し、市の知名度向上及びイメージアップを図るため、平成28年12月1日に「さくらがわ応援大使設置要綱」を策定した。現在6人のさくらがわ応援大使を委嘱し、PR活動を行っています。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特にありません。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・市の特産品をPRするための事業なので、魅力と活力ある産業づくりに結びつく。 ・大使に、市の魅力を広く全国にPRしてもらうことで、市の知名度向上及びイメージアップに繋がる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・桜川市の特産品PRのために、公費を支出してPRすることは妥当である。 ・大使に、市のPRをしてもらうために必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ・PRすることで市の宣伝になり、観光や農産物の消費拡大につながる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市の特産品のPRができなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 観光PR事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 桜川市の特産品をPRする事業であるため、観光関係の事業と連携ができる。 大使については、観光大使を新たに設置することで、PR大使として連携できると思われる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ・自治体等を訪問した際の特産品のPRなので、削減の余地はない。 ・大使には、PRのための名刺とPR品の支給のみなので、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・桜川市のPRするための事業なので、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 市長が他の自治体を訪問した際に市の特産品をPRすることができました。大使については、観光PR事業において観光大使を新たに設置することで、PR大使としての連携も視野に入れることができます。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加				○			維持			×		低下			×
成果	向上	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 さくらがわ応援大使に特産品を送付するのみでは、市のPRには直接繋がらないため、SNSなどで周知してもらえるような特産品を検討し、市のPRにつなげる。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	--